

弘濟寺がわら版

第98号

令和4年8月11日発行

弘濟寺 玉野千永編集

弘西寺131 0465(04)1717

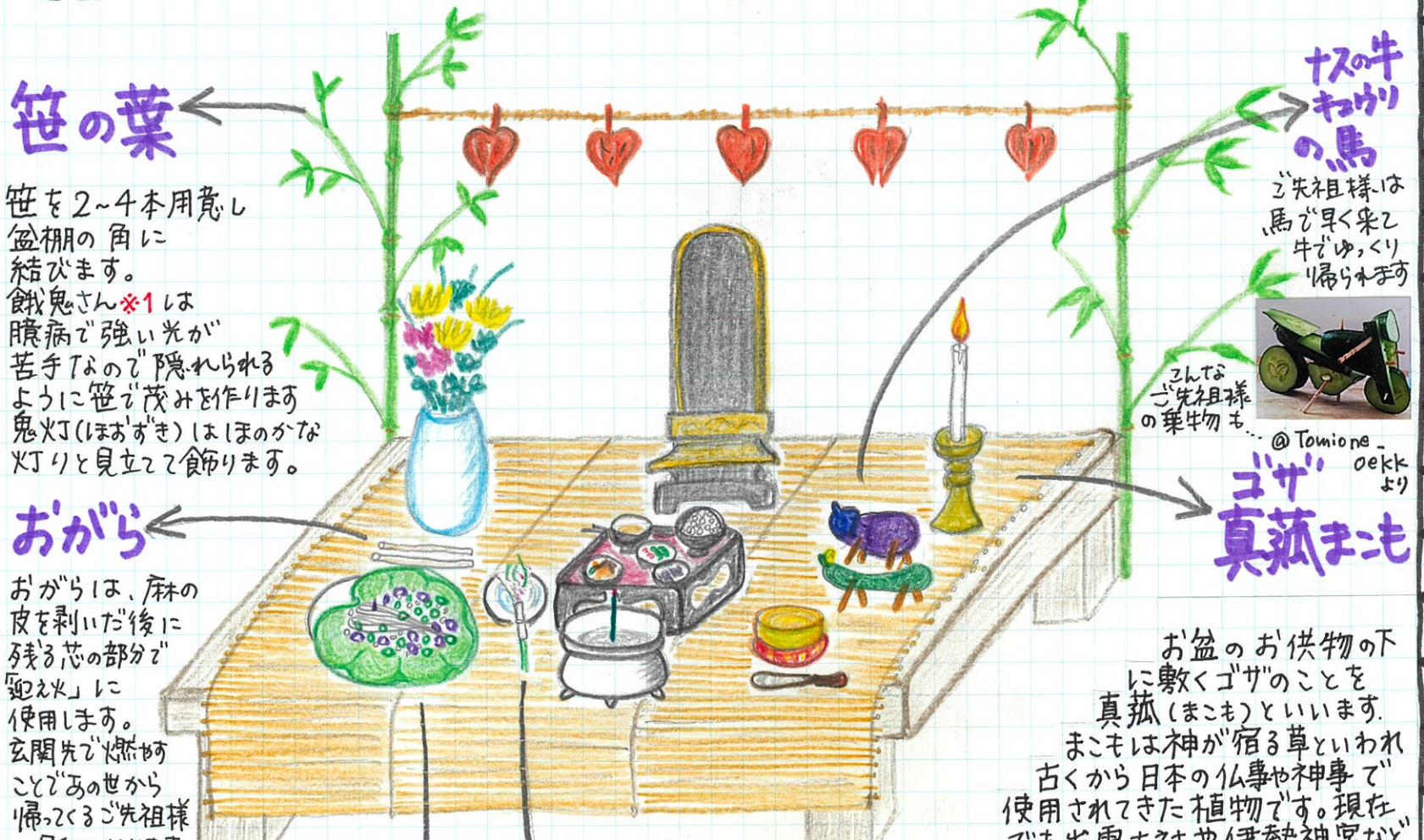
弘濟齋寺

棟素

お盆 特別に おしむぎよーせい!

Q. 盆棚はどうやって飾るんですか？

A. 各家に語り継がれた伝統的な飾り方はとても大事なので守って欲しいと思います。ここで紹介するものは一般的な飾り方なので参考にして下さい。



笹の葉

笹を2~4本用意し盆棚の角に結びます。餓鬼さん※1は臆病で強い光が苦手なので隠れられるように笹で茂みを作りまゝ鬼火(ほおずき)はほのかに火灯りと見立て飾ります。

十の牛わりの馬

ご先祖様は馬が早く来て牛がゆくり帰ります



ご先祖様の乗物も @Tomione aekt

おがら

おがらは、麻の皮を剥いた後に残る芯の部分で「迎え火」に使用します。玄関先で燃やすことであの世から帰ってくるご先祖様の目印になります。迎え火の他にもキュウリの馬と茄子の牛の足として使います。麻は古来より悪いものを寄せ付けない植物として扱われてきました。清浄な空間にご先祖様の霊を迎えるという意味もあるのだよ。

ゴザ 真菰まこも

お盆のお供物の下に敷くゴザのことを真菰(まこも)といいます。まこもは神が宿る草といわれ古くから日本の仏事や神事で使用されてきた植物です。現在でも出雲大社や伊勢神宮などでは祭事にまこもが使用されています。薬用成分があるため、お釈迦様がまこもの筵(むしろ)の上で病人を治療したという言い伝えもあり、その名残で盆棚に使われるようになりました。

禊萩みそはぎ

萩に似ている神事や仏事で昔は禊先に水をつけて悪霊を払うとき(禊みそぎ)に使われていました。みそはぎには喉の湯きを止める効果もあります。餓鬼さんの食べ物は食べる前に燃やしてしまうと言われ、餓鬼さんは常に空腹の苦しみを抱えています。そんな餓鬼さんが食べられるよう、お盆の時に禊先を木に含ませ、みずのこに振るようになりました。

水のこ

お盆はご先祖様とともに、帰るところのない餓鬼さんも共養します。餓鬼さんは喉が針の穴ほど細いので、キュウリとナスは小さいお饗の目になり、洗米を混ぜます。最後に茹でた素麺をのせて、蓮や芋の葉、またはお皿に盛り付け、オガラ(中が空洞なので大変軽い)を詰めます。

※ 餓鬼さん... 六道輪廻(天・人・修羅・畜生・餓鬼・地獄)の中で餓鬼道に苦しむ者たち。

飾り方は各家によって違うと思いますが、形式にとらわれずにお盆に帰ってこられたご先祖様に感謝して供養する気持ちが一番大切だと思います。

7月23日地藏まつり開催

7月23日弘濟寺地藏まつりを開催しました。残念ながら奉納太鼓やバンド演奏、模擬店、キッチンカーの無いお祭りが3年目になってしまいましたが、参拝者を限定させていただき、この日を迎えることが出来ました。



お地藏さん修復日記

本堂左の部屋の改修工事が終わりました



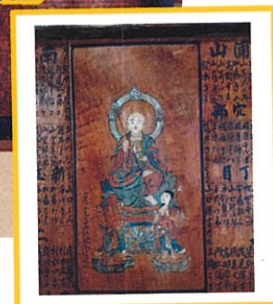
完成した左脇障と大工さん
高岡さん、木下さん、宮松さん

今回は地藏菩薩の台である「須弥壇」とお地藏さんが描かれた「大念仏講」の額のお話です。

須弥壇は1736年(江戸時代)のもので、檜の立派な須弥壇ですので、もしかすると、それまではお地藏さんを本尊さまとして本堂で祀っていたのではと考えられます。弘濟寺の正式名である「法雨山 金剛幢院 弘濟寺」の金剛幢というはお地藏さんを表す言葉であることから、お地藏さんが本尊様であったという説はあり得るかもしれません。大飢饉が続いたこの頃、村の人たちは毎日苦しい生活を送っていました。そんな人たちの願いを叶えようと当時の位職さんが現世利益を得意とするお不動さんを本尊様にお迎えしたのかもしれませんが、須弥壇の制作より36年後の1772年お地藏さんは新築された地藏堂に移設されます。築250年ともなりますと老朽化が甚だしく今回地藏堂から本堂にお戻りになられました。

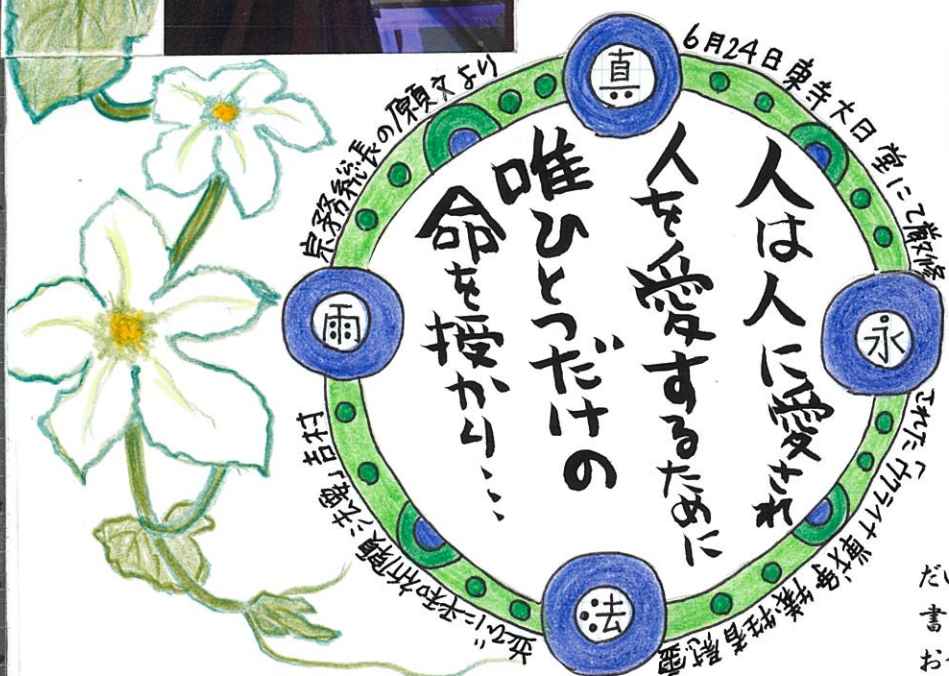
移設された須弥壇を改めて見ると素晴らしい曲線美です。この須弥壇の曲線に合わせて令和の大工さんが壁にはめ込むため同じ曲線をのみで彫り、はめ込みました(写真左)。江戸と令和の職人さんの手仕事の融合ロマンを同近でご覧ください。

HISA&O



こちらは念仏講の奉納額です。だいぶ広い地域の方々のお名前が書かれていますね。お念仏講が盛んだった明治37年に寄進されました。お盆中はお下におろしてありますので、ご先祖様のお名前を探してみたいかがでしょう。

真ん中に描かれたお地藏さんは、松蔭宣龍画です。宣龍画伯は当山の涅槃図を描いた西念寺24世の月泉さんのお父上です。弘濟寺と西念寺さんとの繋がり深さがわかります。



レストラン **マジェール**

★法専用特別コース
4,000円
4名様より(個室完備)

☎82-0335

開成町宮台63(シャトレーゼ向い)

Pasta & Cafe
MAJEAL
Everyday Enjoy, more "E" zone
マジェール since 1997

ご贈答品のご用命は

足柄ハリカ

南足柄市飯沢51-4 火曜定休日
TEL (0465) 74-5221

有限会社 **勝又**

南足柄市飯沢12-10
☎(0465) 74-2306